

平成19年12月5日

公開質問書

首都高速中央環状品川線事業（以下品川線）の五反田換気所及び出入口に関する件

東京都建設局長 殿

住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-25-11

電話番号 03-3492-6382

氏名 高速品川線問題近隣町会合同連絡会

会長 埴 一彦（西五反田本町町会長）



平成19年12月13日開催の旨東京都より要請のあった、都主催の標記説明会に於て、下記件に付き具体的かつ詳細なデータを御提示願ひ、品川区民への説明責任を全うするよう及び願ひに応じて下さるよう強く要請致します。

尚、最近の東京都の動向から、住民の一部に、都は強行着工をするのではとの猜疑心が生じている事及び本書主旨を踏まえた品川区議会採択が都宛てに送付されている事実を申し添え、早期の問題解決を切望致します。

質問主旨

- 1 平成16年12月8日付東京都宛（合同連絡会発）の高速品川線への不安を示した質疑書に対する具体的、詳細な説明及び影響が予測される全域での説明及びデータの公開（別紙詳細参照）を要請します。
- 2 上記1を住民が精査する上で重要な、高速新宿線（本年12月供用開始予定）の開通後の関連データの公開と品川区民への説明を要請します。
- 3 合同連絡会の標語の一つでもある、「京都識定書リーダー国たる日本の首都東京は、世界に発信出来る無公害道路を造って下さい」と言う願ひに応じて頂きたい

別紙 詳細

合同連絡会標語

- ・私達は 子や孫に大気汚染を残したくありません
だから 都市高速道路中央環状線五反田換気所と五反田出入口建設に反対します
- ・京都議定書リーダー国日本の首都東京は、世界に発信出来る無公害道路を造って下さい

私達は下記の通りの高速品川線問題に対する不安点に対し、東京都にあつては詳細に説明責任を果たして頂けるものと考えておりましたが、現時点で説明不足とみなさざるを得ない多くの疑問が残っていると思っており、ここに改めて質問する次第です。

尚、本書は平成16年12月8日付東京都宛質疑書9項目の内、具体的データ等の提示のない7項目と、その後の経過から補足した1項目より成り立っています。

1 具体的提示のない7項目の不安点

1-1 東京都主催の公式説明会は、第1日野小、第4日野小に於ける各1回、都合2回のみです。

環境影響評価書記載の最小影響域である 荏原、東五反田、大崎地区では非公式なものも含めて一度も説明会は実施されていません。

公共工事業業者が説明責任を果たそうとすれば、これらの地域での説明会、新聞折り込み、ポスティング等々の周知策が不可避と思いますが、いかがでしょうか。

1-2 排気塔（都説明 換気塔）について

1) 東京都は車の排気ガスを、殆ど無処理で空中拡散方式で実施するとの考えを変えていません。

注 高速新宿線に於ては平成18年3月付で脱硝装置なるものを各排気所に設置決定済であり、その性能はNO₂は90%除去可能だが、COX、VOC物質は除去出来ずとの都説明あり

2) 京都議定書リーダー国として、又過日首相が宣言した地球温暖化対策の為のCO₂削減目標設定国として、NO_x、COX、VOC除去は国策と考えますがいかがでしょうか。

世界に発信出来る無公害道路を望みます。

3) 過日、東京都知事はCO₂削減の為の規制を発表されました。主旨賛成ですが、公共工事から範を垂れるべきと考えます。規制の為に新たな設備投資を余儀なくされる中小零細企業に対し、有害物質空中拡散論で品川線を計画している、都の公共工事の姿勢はいかなるものでしょうか。

4) 今からでも遅くありません。道路を無害化して頂きたい。

1-3 高さ45mの排気塔と出入口のトンネル火災対策について

都は万一のトンネル火災時に、吹出す火焰の危険防止の為、高さ45mは必要と説明されまし

た。では、高さゼロメートルの出入口のような部分はどのような安全対策を講ずるのでありま
しょうか。完全に安全な旨説明願いたい。

1-4 排気塔騒音について

五反田排気塔は、高さ20m附近に吸気孔、45mに排気孔があると聞いています。では、各
孔から水平距離15mしか離れていないマンションの7階、14階相当部分の騒音はどうなる
のでしょうか。低周波から高周波迄の各音域別音圧データを御提示願いたい。

1-5 排気塔位置について

- 1) 排気塔位置は、走行予想台数と、走行中視界確保の計算で決定したと聞いています。又新宿
線が給気塔9箇所、排気塔9箇所に対し、同程度のトンネル距離である品川線が給排気兼用塔
4箇所と少ない理由もその計算結果と聞いています。

では、その根拠となる計算式、及び品川線の走行台数が新宿線より少ない理由はなんでしょ
うか。御提示頂きたい。

- 2) 原計画の五反田排気塔位置は、明らかに五反田のまちづくりに重大影響ありと推定されま
す。影響なしとする都の説明根拠を御提示願いたい。

1-6 10年に及ぶ工事について

五反田排気塔及び出入口に関係する掘削土は、およそ24万m³（ダンプ1日当たり800台
で搬出）と聞いています。工事現場の状況を具体的に御提示頂きたい（私達は、新宿線の工事
現場のひどさを実際に見て、まちが壊れる様を見ています）

1-7 大気汚染について

高速品川線の完成時には、都全体の大気汚染は大幅に改善され、排気塔からの空中拡散ガスを
加算しても環境基準以下になると、都は説明しています。

私達は、本来無公害道路化をすれば、都全体の大気汚染の改善に役立つと考えています。

（新宿線、品川線合計20km、4車線の道路の無害化による大気汚染改善効果は、万人の理
解を得られると考えます）

ところで、品川線開通時に、周囲の大気汚染が都の予想通り改善されていない場合は、排気塔
はどのような扱いとなるのでしょうか。

2 新たに補足したい1項目の質疑

本年12月に開通予定の高速新宿線に付き、上記に示した環境上、まちづくり上の不安点等々
に関する実測データの公開は、私達が疑問点を検討する上で良い材料になると思っています。
東京都に対し実測データ等の公開と品川区民への説明を求めて頂きたく存じます。 以 上